

消防協力者に対する感謝状の贈呈

平成29年9月26日（火）守口市内の理容店にて90歳男性が剃毛中に意識を失うという救急事案がありました。介護支援専門員の弓削崇子さんと介護福祉士の吉富美津子さんは従業員の方から男性が寝て起きないと連絡を受け現場に駆け付けました。その後、男性は意識及び呼吸がなくなってしまいましたが、2名の協力による119番通報と胸骨圧迫の実施により男性は一命を取りとめ、尊い命を救うことができました。この2名の救命活動に対して、守口消防署長より感謝状を贈呈しました。

日時：平成29年10月12日（木）13時30分

場所：守口消防署 署長室

消防協力者のコメント

弓削さん 「駆け付けた後、男性に冷や汗がみられたので胸等を叩いたが意識がないと感じました。その後はあまり覚えていませんが、咄嗟に胸骨圧迫等ができたのは、数週間前に応急手当の訓練をしていたのが功を奏しました。」

吉富さん 「駆け付けた後、弓削さんの的確な指示によって冷静に動くことができました。」



吉富美津子さん

弓削崇子さん

日比署長